

私はここから新聞や雑誌は必要だと思ふ。
たしかにインターネットは普及し、その需要
も増えているが、コンピュータや携帯電話
の画面などから情報を読みとるのと、新聞や
雑誌などから情報を読みとるのには大きな違
いがある。力の問題がまずあげられよう。
インターネットから情報を得るには、
ただパソコンを起動しブラウザを立ち上げた
後は、マウスをクリックしたリスクロールを
するだけで情報を読むのに片手の小指を動か
すしか必要としない。対して、新聞や雑誌を読
むには多くの身体的運動が必要となる。両手
で雑誌を持ち腕でそれを動かさないよう固定し
ながら支え、スクロールもできない。紙面は
画面よりも広いため、より広範囲の眼への動き
を必要とする。さらにページをめくるときには
手を動かすし、ときには雑誌を逆にして絵
や図を見たりするところもある。ふたたびは
インターネットの方が手軽で便利だけれど、
かと思ふところもある。情報というも

のは、ただ目を通しさえすればそれだけで
入る、と定着するものではない。簡単に手
に入る情報、ただマウスで画面をスクロールす
るだけで手に入る情報を脳は重要だと判断し
ないこともあるだろう。又、新聞や雑誌は、
普通購入しないし手に入らない。お金を使っ
ている、という事実自体がそこから得る情報
の価値を高め、脳に定着させやすくするだろ
う。さらに、新聞や雑誌は持ち運びが簡単で
ある。コンピュータとは違い、自分の好きな
所で見ることもできるし運ぶ手間もそれほど
変わらない。又携帯電話のように画面が小さ
くしている不都合が起こる心配もない。
以上のことから、新聞や雑誌が読んだら
購入するのには手間がかかるところこそ価値が生
まれると思ふ。